

# 山行報告書

報告書作成

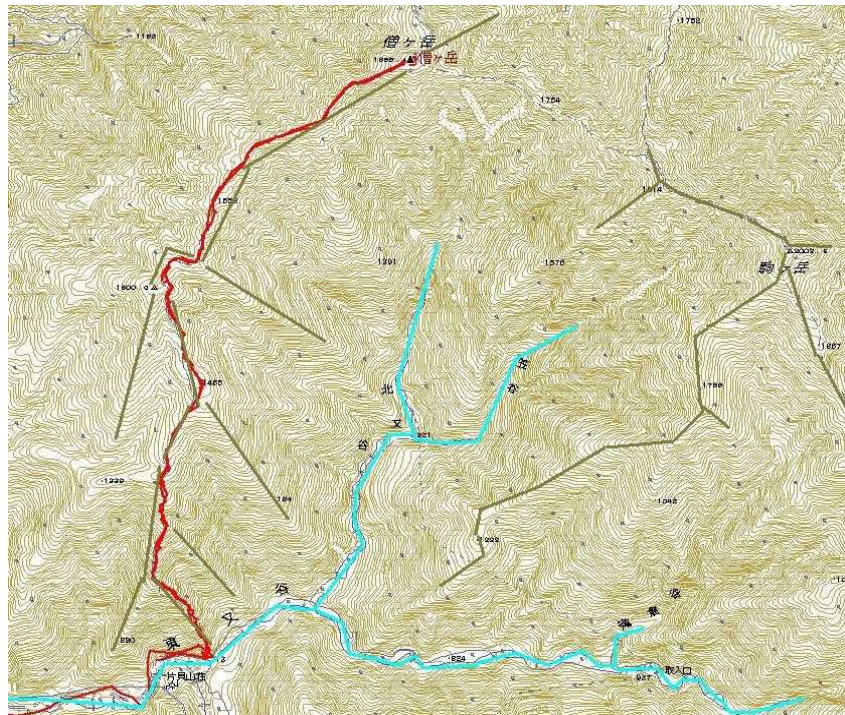
2009年5月17日

山名 [山域]	僧ヶ岳(毛勝岳周辺)	目的と方法	北アルプス展望、残雪期ハイキング
登山期間	5月15日夜行16日登山	山行形態	夜行日帰り
参加人数	2名+1名		

## 行動記録

15日20時岡崎市民病院P集合 = 豊田東IC = 東海環状道 = 東海北陸道 = 北陸道 = 11時55分有磯海SAで時間調整 = 魚津IC = 0時30分片貝山荘付近登山口(仮眠)  
5時30分起床・6時30分登山口発(標高約700m) - 急登(各所でロープの補助有り) - 標高約1200m雪渓始まる - 8時1250m地点で休憩 - 8時30分1350m地点でアイゼン装着 - 9時20分1570m地点尾根合流 - 10時30分僧ヶ岳頂上(1855m、30分休憩) - 12時30分標高1300m地点アイゼン外す - 13時30分登山口 = 天神山温泉(倒産) = 14時10分金太郎温泉14時40分発 = 15時魚津IC = 17時30分ひるがのSA = 19時30分岡崎

## 概念図



## 日誌

当初猫又山に1泊2日で行く予定でしたが、17日悪天候が予測されたので、16日日帰りで登頂できる、僧ヶ岳に変更した。中島君も同じ山域を計画していたので、一緒に行かないか誘ったが、まだ準備が出来ていない理由で、現地集合とした。(まだこの時点で彼は猫又山か僧ヶ岳に決まっていない)、23時50分頃有磯海SAに着き時間調整し登山口に向うが途中舗装道路が続き、片貝山荘の手前2kmくらいから未舗装となる。0時30分頃片貝第四発電所に到着、山荘らしき所は照明が付いている。しかしよく分からないので近くの登山口で仮眠する。翌朝ここが片貝山荘と分かり、N君を6時30分まで待つが来ないので、午後天気崩れることを予測してスタートする。登山口から1時間以上急登が続き、各所にロープが設置されている。標高1200m位から雪渓が現れ、我々は標高1350m地点でアイゼンを装着した。登山路は夏道又はそれに沿った雪渓を歩いたが連休に入った人のトレースは消えていた。途中ミツバツツジ、コブシ、イワウチワ等丁度身頃を迎えている。ほとんど尾根の頂点を歩いたが、標高1570m地点に尾根の合流が有り、ここで方向を北東に変える。此处からは比較的傾斜が緩くなり展望が良い快適な登山路である。頂上は標識が雪で埋まっており、比較的広く、北部北アルプスの展望台で5月の連休に登った鹿島槍も確認できた。また日本海まで見渡す事ができる。30分ほど休憩し、下山に入ると、N氏に行き会い、再度頂上に戻り、記念撮影、我々だけ下山する。途中でN氏が追いつき、丁度13時30分登山口に到着したところ雨が降り出す。予定通り、天神山温泉に行くが、倒産したことが分かり、新たに温泉を探し、金太郎温泉に行く。ここN氏と分かれ岐路に着く、比較的小降り雨はひるがのSAを過ぎたところから大降りとなった。

## 感想

17日だけでなく16日午後から天気が崩れるという予報に対応し日帰り山行にした判断は正しかった。私は始めてこの山域に入ったが、毛勝山の雪渓は非常に急斜面に見え、よく山スキーや歩きで登頂できたと感心した。ここまで遠く来たのに日帰り山行だけで帰ることは残念であるがしかたがない。